

最優秀賞受賞作品

学校名(学年): 熊本市立東町中学校(1年)

氏名: 中間 理乃

「33歳のわたしへ」

もしもし、20年後の、未来のワタシですか？

2015年、私は今、13歳です。スマホで話しています。スマートフォンって流行ったのを覚えていますか？ 通話はもちろん、インターネットやメール、SNSが使えた、あの携帯電話です。

20年経って、2035年では、どんな通信機器を使っているんですか？

へえ！ マイ・ナンバーが登録されたマイクロチップが、国民全員に埋め込むことが義務付けられているんですか！ GPS機能もついているなら、事件や事故も2015年の現在に比べて、少ないでしょう？ 安心・安全な世の中になっていて、いいなあ。今すぐにでも欲しいシステムです。

電話の機能もすごく進化しているんでしょうね。えっ?! 携帯電話なんて、博物館でしか見られない、ですって？ 超小型イヤホンマイクのようなものを使って通話しているんですね。声を出して会話するだけでなく、脳の神経細胞であるニューロンのシナプス(継ぎ目)に、マイナンバー・マイクロチップの端子をつなげば、脳波をキャッチして、互いの脳内で会話できるモードもあるんですか！ まるで、テレパシーみたいですね!! ALSをはじめとする、話すことが困難な難病の患者さんや、聴覚に障害があったり、加齢によって聴覚が衰えてくるお年寄りの方々にとっても、役立てる機能ですね。

そういえば、『電話の父』と言われている、グラハム・ベルの発明は、彼のお母さんが聴覚に障害があったことが原点にあるそうです。ベルが小さい頃に発見したことは、お母さんの額に口をつけて言葉を発すると声が聞こえやすくなる、といったものだったそうです。「骨伝導」技術の原点ですよ。

万能細胞との技術コラボレーションもいつか叶うといいですよ。

20年後の私は、夢を叶えていますか？

え？ それは、20年後のお楽しみ？

希望に満ちあふれていて、いろいろな可能性を持っている通信技術の目覚ましい発展の話を聞いてうれしかったです。素敵な未来のワタシに会えるように、私たちが一翼を担っていけたらいいな……。

通信の可能性は、無限の可能性を持っています。2015年現在は、スマートフォンの普及に伴って、利便性と表裏一体で、その弊害も問題点としてあるのも事実です。ベルが発明した電話とは、本来、人に想いや感情を伝えるためのものだったはずで、決して他人を傷つけたり、悪用してはいけないものだったはずで、20年後、私が33歳になった頃には、通信技術が、医療や交通システムはじめ、果ては宇宙空間まで、様々な分野で活用され、本当に人々の平和と安全のために役に立っていることを心から願っています。

「もしもし、33歳のワタシ、元気ですか？」